

水はどこから



「戸ノロぜきの水はどこから引いてきたのだろう。」

みんなは、50ページの地図や51ページの写真を調べればわかるのではないかと考えました。



「若松には、近くに大きな阿賀川があるのに、なぜわざわざ遠い猪苗代湖から水を引いているのかしら。」



「まわりの土地の様子をもっとよくわかるように立体地図を作ってみましょう。」

先生が作り方を教えてくださいました。

また、「土地の高さを調べてごらん。」

とおっしゃり、下のだんめん図を見せてくださいました。

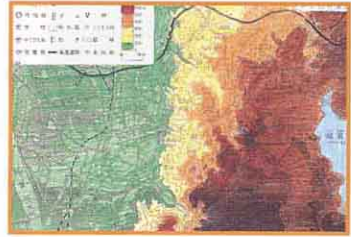
みんなは、地図や写真から分かったことをカードにまとめ話し合いました。

水はどこから引いてきたのでしょうか。そのわけは何でしょう。

▶立体地図のつくり方

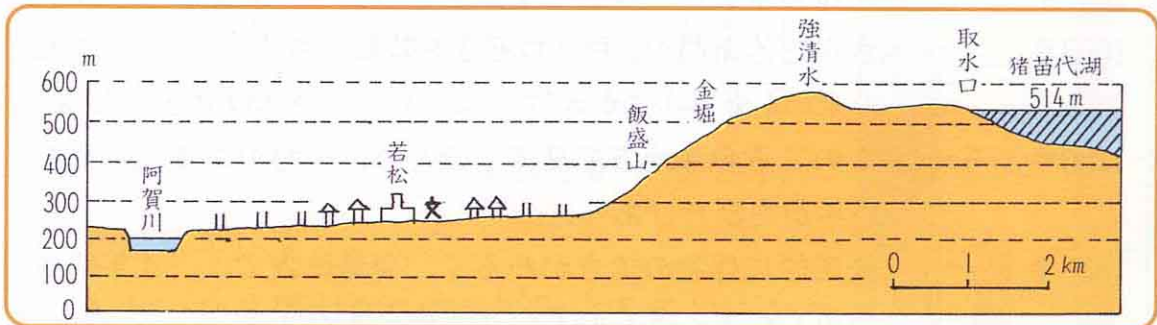
1. 切りぬき用の地図を4まい用意する。
2. 等高線を見ながら、
 - ①低いところ（みどり）
 - ②やや低いところ（黄色）
 - ③やや高いところ（おう土色）
 - ④高いところ（茶色）の4つに分けて、それぞれ切りぬく。
3. 切り抜いた地図に色をぬる。
4. 重ね合わせて、のりでつける。

④でき上がった立体地図



④カードの例

猪苗代湖は、若松の町より高いところにあるので、水が引ける。



戸ノロぜきをつくった人々のくふうや努力と用水路ができたあとのくらしの変化を調べてみましょう。

④猪苗代湖から阿賀川までの地形だんめん図